



巻頭の辞

九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令

陸将補 竹内 綱太郎

めたばる

発行

令和5年10月
陸上自衛隊
目達原駐屯地
〒842-0032佐賀県神埼郡
吉野ヶ里町立野7-1
TEL.0952-52-2161



@JGSDF_METABARU
#目達原駐屯地

9月現在
約10,000人
フォロー中！

「フォロー」
「いいね」
お願いします。

「駐屯地X(旧ツイッター)」
発信中

目達原駐屯地隊員の訓練
行事・災害派遣情報など、
満載！是非ご覧下さい。

ホームページ



献血に協力する司令

夏の暑さもだいぶ和らぎ、清々しい秋の気配を感じる季節となりました。

7月上旬に発生した九州北部地区の大雨では、大きな被害が発生してしまいました。駐屯地からは、西部方面ヘリコプター隊及び空中伝送班がヘリ映像伝送を実施して、被害状況等の撮影・配信を行い、災害派遣活動を支援しました。また、実際の災害派遣活動には致らなかったものの、近隣の自治体へ連絡員を派遣して連携調整及び情報収集等を行い更なる被害等の発生に備えました。

さて、今年度の駐屯地主要行事の一つである目達原駐屯地創立69周年記念行事については、12月を予定しています。今回は、新型コロナウイルスの5類への移行を踏まえ、祝賀会食、観閲飛行、訓練展示及び模擬売店など地域の皆様が喜んでいただけるよう以前よりも更に充実・発展させた記念行事を「再興」する予定であり、日頃の感謝を込めまして準備を着実に進めておりますので、多くの方々に来駐していただけることを心待ちにしております。

目達原駐屯地は今後も引き続き、佐賀県唯一の陸上自衛隊として地域との連携を強化し、地域の皆様に愛され信頼される駐屯地であり続けられるよう、隊員一丸となって任務や訓練に邁進していきます。

西部方面総監初度視察

駐屯地は、7月27日(木)、第40代西部方面総監 山根寿一陸将による初度視察を受けました。初度視察では、儀仗隊による儀仗の後、記念撮影、幹部挨拶、状況報告及び施設巡視等が実施されました。本視察において、西部方面隊の兵站と航空部隊の中核である目達原駐屯地各部隊の防衛警備・災害派遣等の任務遂行能力及び地域との連携の状況について確認していただきました。



儀仗を受ける総監



状況報告



幹部挨拶



記念撮影



総監による総監旗手への記念メダル授与



施設巡視(ヘリ格納庫)



施設巡視(落下傘訓練場)

夏 休 み こ ど も 大 会



戦車と一緒に記念撮影



ドーラン体験(いい感じで塗れました)

駐屯地は、毎年恒例となつて
いる夏休み子ども大会を令和5
年7月22日(土)に開催し、佐
賀県内の小学4年生から6年生
の28名が参加しました。大会で
は、基本教練体験、体験試乗、
装備品見学、ドーラン体験(迷
彩フェイスペインター)及び体験喫食
等を実施しました。参加した子
供達は、装備品見学において興
味津々にヘリコプターの説明を
聞いたたり、ドーラン体験では、
隊員が驚くほど見事なドーラン
顔を披露していました。
当日は猛暑にもかかわらず元
気いっぱいな子供達の笑顔に囲
まれ、隊員達もほっこりした一
日を過ごしました。



体験喫食



装備品見学



基本教練体験



集合写真



米軍との会議



日米指揮官によるギフト交換



各種検討会

九州補給処は、7月6日(木)から7月20日(木)の間、沖縄県にある米軍基地(キャンプ・キンザー)において、令和5年度国内における米海兵隊との実動訓練(レゾリュート・ドラゴン23)(前段)に参加しました。
本訓練では、兵站(補給・整備等)調整所等を開設し、米海兵隊との共同兵站に係る指揮幕僚活動等の訓練を行いました。
連続状況下において、米軍との会議や各種検討を実施し、日米共同兵站のための連携要領等を演練することにより、日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図ることができました。

レゾリュート・ドラゴン23(RD23)(前段)



九

州

補

給

処

補給統制本部長実視

九州補給処は、7月10日(月)及び7月12日(水)、目達原駐屯地等において、補給統制本部長の実視を受けました。
目達原駐屯地では、処長による状況報告、施設実視等を、キャンプ・キンザーでは、副処長等による状況報告、米軍施設等の研修等を行いました。
実視では、説明者や米海兵隊の隊員に対する質問や意見交換が行われ、九州補給処の現状、南西事態における兵站支援要領の他、九州補給処の役割・問題点及び日米共同兵站の重要性について確認していただきました。



施設実視(目達原駐屯地)



集合写真(目達原駐屯地)



施設実視(キャンプ・キンザー)



状況報告(キャンプ・キンザー)



米海兵隊将校と握手する補統本部長

西部方面後方支援隊

西部方面ヘリコプター隊

第321基地通信中隊

第11代西部方面後方支援隊長へ！
中村1佐着任！



西部方面後方支援隊は、令和5年8月1日付で第11代西部方面後方支援隊長に着任した中村公多朗1等陸佐の着任式を挙行了しました。

参列部隊指揮官として副隊長（加藤1佐）が指揮を執り、13個の隷下部隊長等が目達原駐屯地のグラウンドに参列する中、中村1佐は着任にあたり、隷下各部隊の現状を確実に掌握するまでの当面の間は、前隊長（野口1佐）の意志を引き継ぐとして、「動け」（全ては被支援部隊の為に、変化に対応せよ）を要望事項に掲げました。

また、9月下旬までの間、目達原駐屯地所在部隊の初度視察を皮切りに、離島を含む17個の駐・分屯地に所在する隷下各部隊の視察を行いました。

西部方面後方支援隊は、これまでの歴史と伝統を充実・発展しつつ、変化に適切に対応し、新指揮官の統率の下で支援任務に邁進して参ります。



着任式（目達原駐屯地）



1次部隊長と記念撮影

第1次航空隊集中訓練参加

西部方面ヘリコプター隊は、令和5年6月13日（火）から6月21日（水）までの間、令和5年度第1次航空隊集中訓練に参加しました。

本訓練は航空隊隷下部隊毎、課目を設定し定められた期間、集中して訓練を行うもので、ヘリコプター隊は、長距離車両機動訓練、デッチング（緊急着水）訓練、発着地の開設・離着陸訓練等、普段集中して実施困難な課目を厳選し、訓練を行いました。また、ヘリコプター隊の各隊も特殊操作訓練や被拘束者の取り扱い訓練等、創意を凝らした訓練をそれぞれ実施しました。

併せて、本訓練間に実施された第8師団訓練検閲の支援の場を活用し、ヘリボン等を行い、島しょ防衛作戦における戦闘支援等の能力向上を図りました。

総じて、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作について練度を向上させることができ、大変有意義な訓練となりました。



離着陸訓練



デッチング（緊急着水）訓練

第1戦闘ヘリコプター隊

日出生台AH射撃訓練

第1戦闘ヘリコプター隊は、令和5年7月7日（金）から11日（火）の間、日出生台演習場において、ヘリコプター射撃訓練を実施しました。

本訓練では、操縦士の射撃練度を評価・判定するとともに、整備員の射撃支援能力の向上を図りました。併せて、30mmGUN射撃要領を検証し、現実的な戦い方の検討の資とするともに、爆破訓練を実施し、不発弾処理技能者の練度維持・向上を図りました。



整備員による点検



30mmGUN射撃

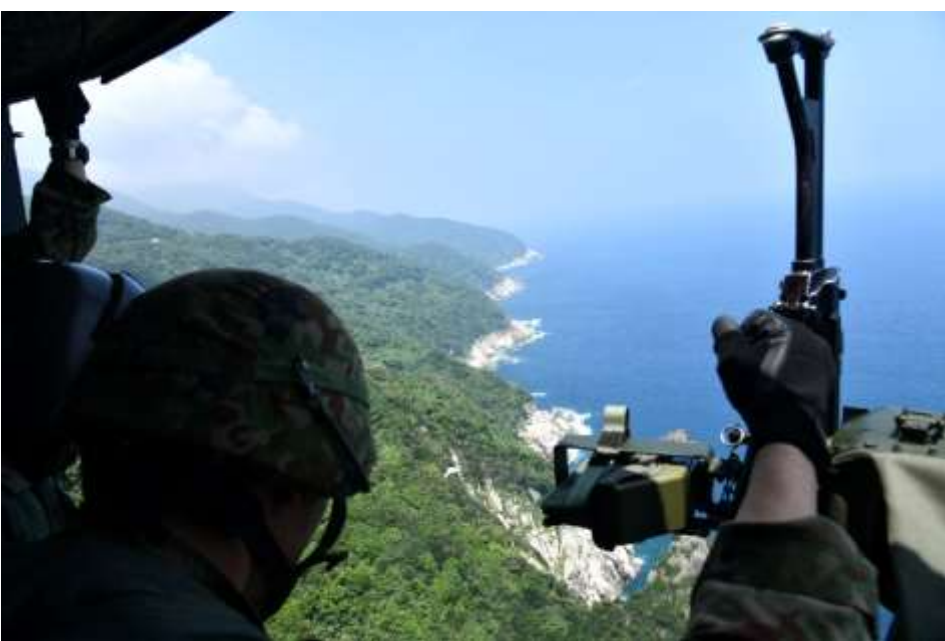
第4飛行隊

ドアガン射撃訓練

第4飛行隊は、令和5年7月23日（日）から7月27日（木）までの間、佐多対空射撃場（鹿児島県）において、令和5年度第2次ドアガン射撃訓練を実施しました。多用途ヘリコプター（UH-1J）2機をもって第4師団隷下の各普通科連隊、対馬警備隊及び第4飛行隊の射手が洋上におけるホバリング射撃と移動間射撃を実施しました。訓練参加者全員が射撃基準に示す所望の成果を収めることができました。本訓練の成果等を踏まえ更なる射撃練度の向上を図って参ります。



地上での射撃前点検



射場までの移動



洋上でのドアガン射撃



特殊操作訓練

西部方面管制気象隊

航空交通管制技能試験「合格！」

西部方面管制気象隊第1派遣隊管制隊に所属する川村3曹は、実務研修生として約1年間、航空管制員に必要な知識及び技量を積極的に修得するとともに、先輩管制員の指導等を真摯に受け止め、令和5年6月23日（金）、国土交通省が試験担当する航空交通管制技能試験を受験し、見事「合格」！航空管制員になることができました。

派遣隊は、引き続き真に戦える隊員育成に尽力し、人材確保に努めて参ります。今後益々、飛行部隊の任務達成及び航空安全確保に邁進します。



管制塔における川村3曹の勤務風景



合格に伴う航空交通管制技能証明書の授与



第24代中隊長 船津3佐



記念撮影

第321基地通信中隊長

船津3佐着任！

第321基地通信中隊は、令和5年8月1日（火）、第24代中隊長 3等陸佐 船津孝成の着任式を挙行了しました。中隊長統率方針「変化への柔軟な対応」、要望事項「目標を持って」の指揮統率の下、船津中隊長を核心として、各級部隊指揮官等の指揮統制において重要な意義を持つ全国の骨幹通信網の一角を担う責任を深く認識し、中隊所属全隊員心機一転、システム通信任務に邁進していきます。

西部方面システム通信群本部中隊
映像写真小隊 空中伝送班

九州北部豪雨被害地域の映像配信

空中伝送班は、令和5年7月初旬に九州地区で断続的に降り続いた集中豪雨による久留米市の被害状況把握のため、映像伝送任務に従事しました。上級部隊からの命令により特に被害が甚大である筑後川上空に速やかに推進し、河川氾濫の状況、浸水状況及び土砂災害等の被害状況の撮影を実施し、西部方面総監等の状況判断に資する映像を配信しました。

今後も即動態勢を維持するとともに災害等が発生した際には速やかに被害地域の映像配信を実施し、西部方面隊等の任務達成に寄与して参ります。



事前の認識統一



機内の状況

新着任部隊長紹介

西部方面後方支援隊長



1等陸佐 中村 公多朗
〈出身〉福岡県〈職種〉武器科
〈座右の銘〉
①一隅を照らす 此れ則ち国宝なり。
②ピンチはチャンスなり。

〈一言〉

歴代の隊長や隊員が築いた伝統を充実・発展させ、任務完遂に向けて努力して参りますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第321基地通信中隊長



3等陸佐 船津 孝成
〈出身〉熊本県〈職種〉通信科
〈座右の銘〉
人生は、一生青春であり一生勉強である。

〈一言〉

隊員の幸せを第一に考え「変化への柔軟な対応」ができる隊員の育成に尽力します。

(令和5年8月1日付)

西部方面隊オピニオン・リーダー研修支援



記念撮影

駐屯地は、7月5日(水)、西部方面隊が実施する西部方面隊オピニオン・リーダー研修を支援しました。本支援は、西部方面隊オピニオン・リーダーの方々が、自衛隊に関する認識を深化させるために行う九州・沖縄地区研修に際し、佐賀地区の研修を支援するもので、駐屯地司令や駐屯地部隊長等による部隊概要説明、装備品展示、施設研修、隊員との懇談及び会食等を実施しました。

隊員趣味紹介 九州補給処電計課 マイブーム 防衛技官 井手裕見子

私の趣味は、カブトムシの飼育です。現在小学6年生の息子が1年生の時、道の駅で幼虫を購入したので、きつかけに、家族みんなで育てています。

カブトムシにとって一番大切なものは、ごはんであり住まいでもある「土」です。きれいな土に交換すると、幼虫は喜んで素早く土にもぐります。

土の中で育ったカブトムシは、毎年7月上旬に成虫となって地上に出てきます。



虫同士の相性もあるので、飼育ケースをいくつにも分けながら入念に生活環境を整え、できるだけケンカにならないように工夫して育てることも、元気なカブトムシを育てる重要なポイントのひとつです。仕事がお忙しい方でも育てやすいと思います。あなたも是非育ててみませんか？



6年目を迎えて ～カブトムシの飼育～

只今、前進中。 若人奮闘記



宮崎 涼輔
(みやざき りょうすけ)

所属 九州補給処
階級 3等陸曹
職種 会計科
役職 審査陸曹
平成31年入隊 30歳
趣味 音楽鑑賞
特技 柔道(初段)

インタビュー

―普段の業務でどんなことをされていますか？
「調達要求書の受付・審査、契約実施計画の作成、西部方面隊経費の資金請求などの業務をしています。」
―目標や将来の夢は何ですか？
「幹部自衛官になることです。」

目指せ！幹部自衛官！！

―そのために何か取り組んでいることはありますか？
「率先垂範できる幹部自衛官になりたいので、普段の業務を積極的に実施しています。あと、体力も必要だと思い、ランニングや筋トレをやっています。そのおかげで、最近痩せて体全体がスマートになりました(笑)」
―ありがとうございます。早く幹部自衛官になれるように勉強や体力練成頑張ってください。



資料確認中

献血への協力

トピックス

駐屯地は、令和5年8月30日(水)、駐屯地厚生センターにおいて、佐賀県赤十字血液センターに対し、献血の協力を実施しました。駐屯地司令をはじめ193名の隊員が献血に協力しました。駐屯地は、患者さんの尊い命をつなぐため、引き続き献血の協力を実施していきます。



定年退官者及び予定者

▽8月5日	▽8月8日	▽8月9日	▽8月18日	▽8月20日	▽8月27日
西方へり	曹長 向井 浩一	曹長 北原 和孝	1曹 山科 剛	准尉 朝重 智	曹長 松田 暢之
曹長 曹長	曹長 曹長	曹長 曹長	曹長 曹長	曹長 曹長	曹長 曹長
曹長 曹長	曹長 曹長	曹長 曹長	曹長 曹長	曹長 曹長	曹長 曹長
曹長 曹長	曹長 曹長	曹長 曹長	曹長 曹長	曹長 曹長	曹長 曹長
曹長 曹長	曹長 曹長	曹長 曹長	曹長 曹長	曹長 曹長	曹長 曹長

お知らせ

目達原駐屯地創立69周年記念行事

- 時期 令和5年12月3日(日)
(一般開放 午前8時30分～午後3時)
- 場所 陸上自衛隊目達原駐屯地
(佐賀県神埼郡吉野ヶ里町立野7-1)
- 実施内容 観閲式典、観閲飛行、訓練展示、祝賀会食、車両体験試乗、装備品展示、バルーン体験搭乗、模擬売店、子ども広場、音楽演奏 など
- 問い合わせ 陸上自衛隊目達原駐屯地広報室 Tel.0952-52-2161
細部は、ホームページをご確認ください。



観閲飛行

※写真は、昨年度のものです。